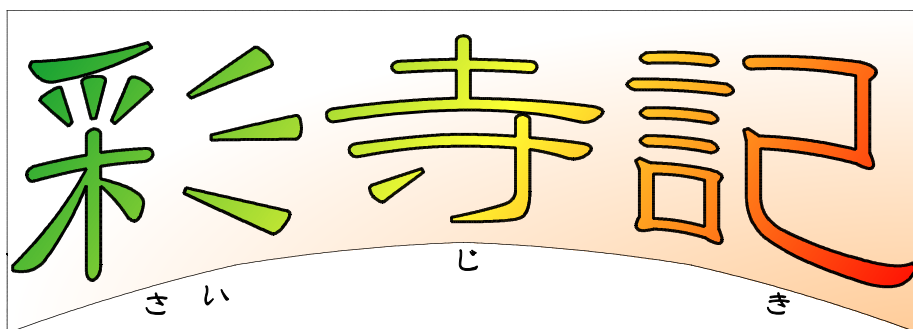


真言宗豊山派

蓮光院 季刊寺報

柏崎市米山町2260
(0257-26-2109)

編集・文責
中村 浄光



令和2年8月
再刊 11号
(通刊20)

2020 盆

彩寺記は
ホームページにも
掲載されています
renkouin.com/



～ 初夏 しとやかに ～

蓮光院の運営を担う11人のサムライ

檀頭 ご挨拶

檀頭を仰せつかっております二見大です。よろしくお願いいたします。

コロナウイルスが全国で蔓延している中、お寺行事の中止、変更等でご迷惑をおかけしております。今後もなお一層のご協力を頂きますようお願い申し上げます。

さて、今年は鐘楼改修工事を総会で承認頂き、檀家の皆様の御浄財により工事も順調に進み7月中旬にはストレスでの葺き替え工事もほぼ完成して、立派な姿を見せています。

檀頭 二見大さん

また、梵鐘吊金具の傷みも進んでいましたが、柿崎区『ウエノテックス株式会社』会長 上野 秀正様のご厚情により、ステンレス製吊金具の新調工事一式をご寄贈頂きました。ありがたいお志に心から感謝申し上げます。是非、ご家族で参拝いただき、完成した鐘楼を観ていただければ幸いです。今後も役員一同、蓮光院の護持に努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



蓮光院役員紹介

代表役員	中村 浄光	住職	担当	全般
責任役員	二見 大	檀頭		全般
責任役員	西村 幸雄	副檀頭		風雨対策
責任役員	武井 辰夫			風雨対策
責任役員	武井 義明			境内樹木保全
総代役員	武井 昭男			会計
総代役員	常山 光雄			行事
総代役員	室賀 昇			書記
総代役員	夏目 芳孝			会計
総代役員	大塩 久雄			書記
副住職	中村 浄栄			行事

「フットワークの良さ」に期待

檀頭さんが見せてくれているフットワークの良さに住職は有り難く感謝しています。役員全員が、新たな意気込みで責任と誇りをもって張り切っています。どうぞご支援ください。

鐘楼修復特集

～ 鐘楼再建 から 99 年目の 今 ～

より永く 遠い未来へ 残したい！

檀信徒の皆さん
関連業者の皆さん、篤信家の皆さんのお陰です
感謝に堪えません

以下に工事の概要をお伝えします

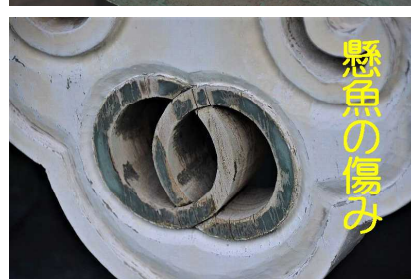
◆ 大正10年(1921)の再建

～はっさき大火 復興のシンボル だった～

大正9年のはっさき大火後、翌年に真っ先に再建された鐘楼。火災復興の「はげみ」になればと、蓮光院檀徒と村内の有志の方々により再建されました。

あれから99年を経た鐘楼本体は老朽です。昭和62年に銅板屋根に葺き替え、野地板、垂木等の交換を行いました。塩害は30年で甚大な傷みをもたらしました。

◆ 傷んだ部材 触ると破れる銅板





柱の傷み

柱巻きの剥がれ

鐘木の傷み

◆ 諸工事概要

3月 鐘楼用電灯配線 4月 水洗い 5月 懸魚
造り直し 風鐸錆落とし、塗装 灯籠造り 屋根吹き替え
開始 6月 鐘木（しゅもく）造り 木部塗装開始 梁の
彫刻に金色塗装 7月 ぐし・鬼の完成 木部塗装の完成
柱・桁のステンレス巻き 鐘木の取り付け 下旬全て完成

◆ 板金技術の粋を尽くした最高水準の屋根葺き替え ～ 総ステンレスだから硬くて容易でなく・・・ ～

お金をかけた立派な鐘楼はあちこちにありますが。しかし、小さい鐘楼ながらも、高度な技術を誇る株式会社原貞板金工業所による葺き替え工事によって、他に類を見ない立派な仕上がりとなりました。随所に高いレベルの技術が見られます。蓮光院が他に誇れる建物の1つです。



難しい葺甲のせり上げ



葺き上がった葺甲



隅棟のハマグリ葺き



ぐしの菱葺き



鬼の据え付け



懸魚の据え付け



柱巻き



桁巻き

◆ 梵鐘吊金具の交換 鉄から ステンレス へ

2台のチェーンブロックで鐘を吊り上げる



ステン
の吊金具
重くて一
人では持
てない

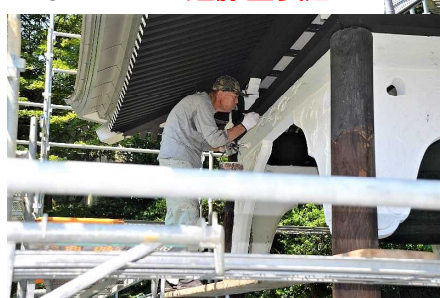
据え付け
られた吊
金具



吊り金具および施工一式は **ウエノテックス株式会社 会長 上野秀正さま** のご寄贈によります。

◆ 塗装工事

塗装をし直すと実に綺麗になります。近藤塗装店



3度塗り

◆ 鐘木・吊りロープの製作 鐘木は吉原一夫氏の製材です

L 166 cm
Φ 12 cm



ロープの割差し・五色に染めた手綱をなう

◆ 見てください！ 未来に残せる財産です！！



完成した鐘楼

● 工事の詳細は蓮光院ホームページ『ニュース&トピックス』に掲載されていますのでご覧ください。

蓮光院ホームページ <http://www.renkouin.com/>

